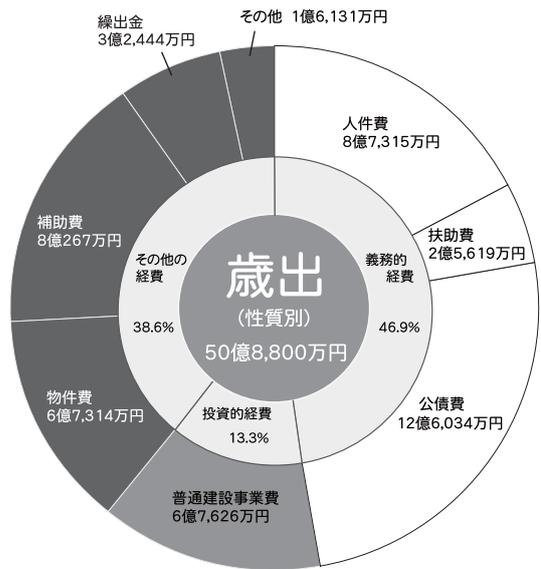
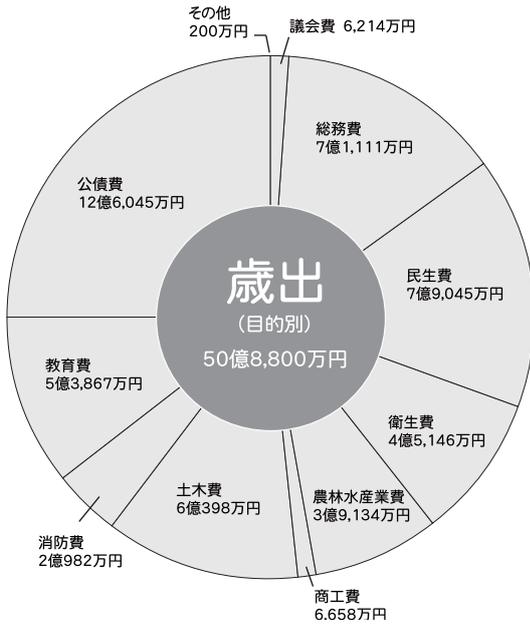
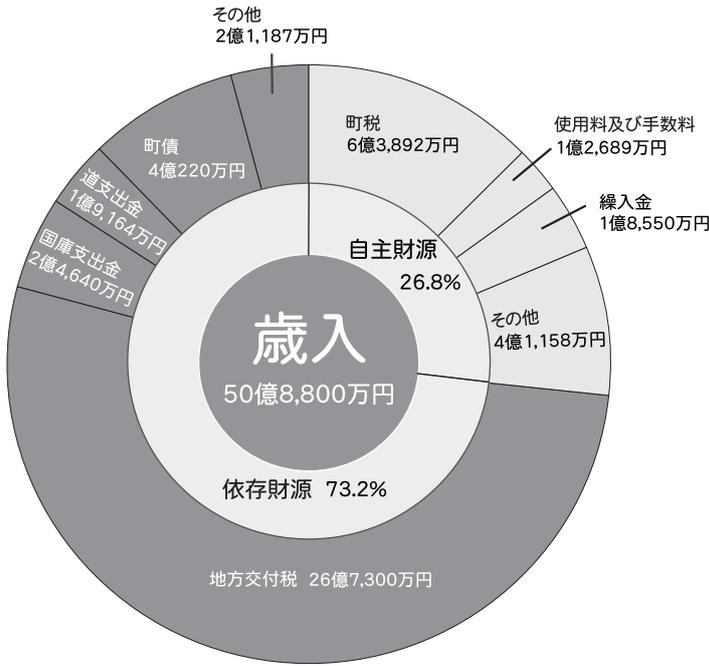


# まちの予算

今年度の予算総額は、一般・特別会計合わせて72億5、211万円9千円となり、平成19年度と比較しますと6億4、615万円の減となりました。このうち、一般会計は50億8、800万円、特別会計の合計は21億6、411万円9千円となっております。

【一般会計予算】



▼はじめに

平成20年度の一般会計予算総額は50億8、800万円となっております。前年度当初予算に対し2億600万円増額しております。

予算策定においては、重点施策である「行財政改革の推進」「定住・交流人口の拡大と地域連携」「保健・福祉・医療体制整備」の3項目を基本姿勢とし、「予防行政の推進」「一次産業の活性化」「教育・文化の振興」についても引き続き視野に入れメリハリのある予算措置をいたしました。

新冠町の基金（貯蓄）については、平成19年度末の見込で約90億6、200万円、平成20年度末時点では約83億5、700万円の見込となっており、平成15年度から年々減少しています。

▼歳入

町税は、前年度においては個人住民税の税源移譲という大幅な税制改正が行われたことから、過大とならないよう配慮しながら増額計上し、他方、大規模固定資産税、たばこ税及び入湯税が減少するという課税環境下で予算を計上いたしました。前年度においては、各税目とも大きな制度改正は予定されていませんので、前年度の課税状況を基に増減要素を加味し、前年度比1・8%増加の予算を計上いたしました。

地方交付税については、昨年度から新

## 平成 20 年度 各会計予算総括表

区 分	予算額	前年予算額	前年度比
一般会計	50 億 8,800 万円	48 億 8,200 万円	4.2% ↑
簡易水道特別会計	2 億 6,219 万円	4 億 3,119 万円	△ 39.2% ↓
下水道特別会計	2 億 1,475 万円	2 億 1,767 万円	△ 1.3% ↓
国民健康保険特別会計	7 億 5,107 万円	8 億 1,532 万円	△ 7.9% ↓
後期高齢者医療特別会計	5,803 万円		
老人保健特別会計	8,389 万円	7 億 1,379 万円	△ 88.2% ↓
介護サービス特別会計	2 億 5,150 万円	2 億 7,141 万円	△ 7.3% ↓
国民健康保険病院	5 億 4,269 万円	5 億 6,689 万円	△ 9.1% ↓
特別会計合計	21 億 6,411 万円	30 億 1,627 万円	△ 29.2% ↓
総 額	72 億 5,212 万円	78 億 9,827 万円	△ 8.5% ↓

## 平成 20 年度の主な事業

議会費 6,214 万円

総務費 7 億 1,111 万円

生活路線バス維持費補助金 400 万円  
 地上デジタル放送受信対策事業 162 万円  
 学校跡施設再利用支援事業 4,877 万円  
 定住・移住促進対策事業 133 万円  
 定住・移住支援事業 1,114 万円

民生費 7 億 9,045 万円

障害者自立支援事業 13,224 万円  
 重度心身障害者医療給付事業 2,066 万円  
 日高中部広域連合負担金 5,528 万円  
 地域生活支援事業 308 万円  
 乳幼児医療費助成事業 817 万円  
 児童手当の支給 4,230 万円

衛生費 4 億 5,146 万円

健康推進バス運行事業 378 万円  
 妊婦相談事業 261 万円  
 伝染病予防接種 349 万円  
 合併処理浄化槽設置整備事業 619 万円  
 日高中部衛生施設組合負担金 1 億 1,572 万円  
 にかっぶエコ 21 推進事業 193 万円

農林水産業費 3 億 9,134 万円

担い手農地集積高度化促進事業補助金 1,180 万円  
 農地・水・環境保全向上対策事業 180 万円  
 中山間地域総合整備事業 5,155 万円  
 ホッカイドウ競馬産地支援負担金 1,160 万円  
 有害鳥獣駆除対策事業 423 万円

商工費 6,658 万円

ふるさとまつり事業補助金 530 万円

土木費 6 億 398 万円

町道維持補修工事 933 万円  
 町道改良舗装等工事 1 億 9,729 万円  
 河川整備等工事 944 万円

消防費 2 億 982 万円

防災マップ作成費 432 万円

教育費 5 億 3,867 万円

児童生徒輸送費 3,986 万円  
 レ・コード館整備事業 4,983 万円  
 体育施設整備事業 1,830 万円

公債費 12 億 6,045 万円

予備費 200 万円

予算編成に当たっては、冒頭述べた重点施策等に対し重点的に予算措置をしたほか、協働のまちづくりの観点のソフト事業についても予算配分しました。

平成 9 年 3 月に建設したレ・コード館は、国道沿線に位置し当町の中心的施設になっていきますが、外装部分に塩害等の影響が顕著に見受けられることから施設の長期的保全を図るべく複数年を視野に入れ外壁塗装工事を実施します。また、この他、公営住宅立替整備事業や年次計画による道路整備事業等につきましても継続実施を致します。毎年度償還しております公債費は昨年度に比べ 0・1% 減となっておりますが、本年度の償還額の中には学校廃校による一部繰上償還が含まれておりますので、それを除く通常の償還では 3・6% 減となっております。

▼歳出

たな算定方法が導入され 2 年目を迎える新型交付税の配分額の動向が気かりなところではありますが、当町では平成 8 年度に借入したレ・コード館整備事業に係る地域総合整備事業債の交付税の参入が 19 年度で終了し、さらに、4 月から小学校統合の影響により基準財政需要額は減額となり、また、特別交付税では災害復旧事業など特別の事情は見込めない状況であります。これら普通交付税と特別交付税を加えた交付見込額に国の新たな地域再生対策費を加え、算定したところ、前年度予算対比 0・6% 増となり、国の地方財政計画の伸び率対前年度比 1・3% 増に比べ、0・7ポイント減の予算を見込みました。